

脊椎動物の環境適応と行動に関わる比較内分泌学的研究



大学院理工学研究部(理学)
講師 今野 紀文

研究のキーワード

動物生理、比較内分泌、環境適応、浸透圧調節、神経葉ホルモン、脊椎動物

研究の内容

脊椎動物、特に魚類や両生類の内分泌(ホルモン)系による恒常性維持機構について研究を行っています。魚類の淡水-海水適応や社会行動(攻撃行動や親和行動)に関わる神経葉ホルモンを介した内分泌制御機構とその進化的背景について調べています。また、ゲノム編集技術によりホルモンおよびホルモン受容体をノックアウトした実験モデルを作成し、その表現型からこれまでに報告されていない新しいホルモンの機能や生命現象について探っています。

産学連携・特許

科研費等外部資金

- 平成25-27年度 基盤研究C「軟骨細胞におけるウロテンシンⅡとそのアナログ(URP)の新しい機能の解明」(代表)
- 平成23年度 住友財団基礎科学研究助成「アルドステロン-ENaCシステムの進化と病の起源を探る：肺魚からのアプローチ」(代表)
- 平成23-24年度 若手研究B「両生類の発生過程で起こる窒素代謝変換をトリガーする因子の探索とその作用機構の解明」(代表)

その他、社会貢献・受賞など

- 2007年 富山大学業績優秀者学長表彰
- 2008年 第18回バゾプレシン研究会研究奨励賞
- 2008年 第33回日本比較内分泌学会若手研究者最優秀発表賞

研究の概要図

